



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

NOW

● vol.11

発行：宇都宮大学
編集：広報室

CONTENTS

- 1 世界の頂点に立つ
- 2 座談会 語り合おう、宇大の魅力
- 3 峰ヶ丘祭出展サークル紹介
- 4 地域貢献REPORT
- 5 SLOW FOOD
- 6 学生アンケート「宇大生は今！」
- 7 INFORMATION
- 8 研究 Keyword



INTERVIEW

世界の頂点に立つ

世界を驚かせた 牛の受精卵移植のパイオニア

世界で初めて開腹手術をしない「非外科的な受精卵移植技術」により子牛を生ませることに成功し、受精卵移植実用化の道を切り開いた杉江さん。優秀な雌牛の子牛を多数生産することができる受精卵移植技術の開発は、私たち消費者に安定した価格で高品質の牛肉や牛乳の供給を可能にした。杉江さんの研究の偉大さをあらためて実感した。

(取材/農学部3年・廣田真人)

農家の理解を得るために

「農家の庭先に行くと、お宅の牛の開腹手術をします」と言っても農家の人たちは承知するはずはありません。受精卵移植を実用化、一般化するには、非外科的な方法でなければなりません。牛の開腹手術には、大掛かりな機材が必要であり、何より牛に大きな負担がかかる。畜産試験場で受精卵移植の研究に取り組んでいた杉江さんにとって大きな転機となったのが、1年半にわたる米国ワシントン州立大学への研究留学だった。

牛の直腸ごとに卵巣を探り、発情周期や妊娠による変化を指の感触で確認する日々が続いた。「日本では研究に使うための牛を1頭確保するのも大変でした

アメリカでは一度に50頭以上

の牛を自由に使えました。卵の発育経過を観察していくと、何日後にはどんな卵子が採れるかも分かるようになりました。

「牛の生理」を熟知した杉江さんは、帰国後、「採卵も移植も、開腹しないことを原則に研究を進める」ことを決意した。

家畜繁殖の大家との出会い

杉江さんが家畜の繁殖の研究に進むきっかけは大学時代、馬の繁殖生理、人工授精に関する研究の大家であり、馬事研究所(西那須野町)の所長でもあった佐藤繁雄氏との出会いだった。

佐藤氏は講師として大学の教壇に立っていた。「少年時代、田んぼで農耕馬に乗せてもらったことが何よりも楽しかった」という杉江さんは、その講義に引き込まれていった。

学生時代は馬術部に所属し、同じ獣医学科の学生とともに寮

生活を送った。近くに農学科の学生が寮があり、ここには、コシヒカリの生みの親、石墨慶一郎氏が暮らしていた。杉江さんと石墨氏は、後に、日本雑草科学の父と言われる竹松哲夫氏(42年卒)とともに宇都宮大学農学部卒の「三巨人」と呼ばれることに。後に(農業振興貢献者の)表彰式で同席し、どこかで見えた顔だと思ったら、毎朝一緒に中平出の農村寮から、歩いて通学していた石墨さんでした」と懐かしそうに語る。

戦時中宇都宮大学で学んだ後英たちが、戦後の農業復興のため懸命に研究を重ねる姿に想いを巡らせれば、誇らしい気持ちにもなれる。

「できる限り動物に接する機会を持つてほしい。私も学生時代動物実習がいやだなと思ったりきがありました。でも接し続けていけば可愛さに気付き、好きになれば動物に対する考え方も変わってきます。そのことを痛切に感じます。」

現在は、家畜受精卵移植師の制度ができて家畜の生産に役立っている。杉江さんは、退職後受精卵移植師の養成講習会の講師として全国を駆け回り、母校の教壇にも立ち、後進の指導に当たった。

杉江さんの研究に励まされ、多くの研究者が受精卵移植の技術開発に取り組んでいる。日本の受精卵移植の研究水準は、いま世界の頂点に立っている。

1964年8月6日、外科手術

同じ獣医学科の学生とともに寮

生活を送った。近くに農学科の学生が寮があり、ここには、コシヒカリの生みの親、石墨慶一郎氏が暮らしていた。杉江さんと石墨氏は、後に、日本雑草科学の父と言われる竹松哲夫氏(42年卒)とともに宇都宮大学農学部卒の「三巨人」と呼ばれることに。後に(農業振興貢献者の)表彰式で同席し、どこかで見えた顔だと思ったら、毎朝一緒に中平出の農村寮から、歩いて通学していた石墨さんでした」と懐かしそうに語る。

戦時中宇都宮大学で学んだ後英たちが、戦後の農業復興のため懸命に研究を重ねる姿に想いを巡らせれば、誇らしい気持ちにもなれる。

「できる限り動物に接する機会を持つてほしい。私も学生時代動物実習がいやだなと思ったりきがありました。でも接し続けていけば可愛さに気付き、好きになれば動物に対する考え方も変わってきます。そのことを痛切に感じます。」

元農林水産省畜産試験場
繁殖第二研究室長

すぎえ ただし
杉江 侖

PROFILE

「すぎえ・ただし」1923年、栃木県吹上村(現栃木市吹上町)生まれ。43年、宇都宮高等農林学校(現宇都宮大学農学部)獣医学科卒業。同年、農林省馬事研究所(現宇都宮大学馬事研究所)が廃止され畜産試験場那須支場となる。51年、畜産試験場(千葉市)畜産繁殖科に移る。52年、受精卵移植に関する研究を開始。同60年、米国・ワシントン州立大学に留学(61年)。64年、世界で初めて開腹手術をしない非外科的な受精卵移植技術により子牛を生ませることに成功。89年、終身栄誉賞。96年、勲四等瑞宝章受章。

CAMPUS

語り合おう、宇大の魅力。 第59回峰ヶ丘祭「宇頂天」を語る

座談会

毎年やってくる一大イベント「峰ヶ丘祭」。59年の歴史ある学生たちの祭り。今年も学生たちの手によりさらにパワーアップし、いよいよ開幕。とてつもなくおもしろい峰ヶ丘祭」の魅力を実行委員たちが大いに語り合った。

間近で見られる「花火」

藤田 今年のテーマは何でしょうか？

吉田 みんなで盛り上がりつつ、宇大の「宇」と「頂点」を目指して、という意味も含めて「宇頂天」です。

藤田 今年は去年と違うところはあるか？

小坂 日程が1日増えて11月23・24・25日の3日間となっています。10時から18時までです。平野 24日は、ミュージックフェスティバルといって、大学会館前特設ステージで多くの音楽団体が演奏します。

吉田 23日には、城彰二氏(元サッカー日本代表選手)の講演会もあります！

藤田 今、こういうことを頑張っていますということはないですか？

伊藤 ホームページですね。頑張っていることを、今はネットが重要な役目をしますから宇大の受験を考えている高校生に見てほしいですね。地域の人たちにも来ていただきたいのでチラシも作り配布します。

うちようつてん

吉田 他には3年前から始めた「花火」も売ります。去年よりグレードアップしています。期待していただきたいと思います！

小坂 真上に間近で見られますから、迫力あります。

藤田 今年の音楽の出演者は誰ですか？

平野 宇大のサークルである「MELODY STAFF」という団体が毎年学祭に合わせてライブを開催しますが、今年はその「風味堂」が来ます。ステージで行われるライブは、「ユキヤエス」などのアーティストも出演しますよ。

地域企業の協力で盛り上がる

吉田 学祭の模擬店には、「行列のできる店」があつて、おいしい店がたくさんあります。教育学部の建物が工事中ですが、それを感じさせない勢いで頑張ります。

藤田 行列のできるおいしい食べ物も教えてください。

小坂 「揚げアイス」はおいしいですよ。それと「おでん」とかね。「タイカレー」も評判です。「ホワイトカレー」もありますよ。国際学部の学生の出しているサークルは現地調達の材料とかで本格的に作っています。お子さんから高齢者の方まで、地域の方々にも楽しんでいただけます。

伊藤 今年も協賛品をたくさんいただきました。なんとディズニースーツのチケット5名様分や、伊豆の温泉招待券3名様分など、とても豪華でこれらの協賛品はステージ企画やビンゴ大会などのさまざまな企画の賞品になります。

藤田 それは盛り上がりそうですね。他に何か新しい企画は？

小坂 今年は初めて、「逆ミスコン」をやります。女性では応募しにくいと思いついて、男性の女装によるミスコンです。応募者の写真を3日間張りだして皆さんに投票していただき、3日目にコンテストをやります。最終審査で5組の人にパフォーマンとしてもらい優勝者を決めます。



吉田 3日目は、お笑いライブもあります。お笑い芸人さんに来てのお楽しみ！ダンスグループ「Doozie」も根強いファンがいます。

平野 詳細はホームページを見てください。皆さんの要望に応じて、できる限り毎日更新したいと思っています。

藤田 プロレス研究会も根強いファンがいます。ぜひ見に来てほしいですね。居酒屋もあります。ジャズバーなどでカクテルを飲みながら大人の方も充分楽しめますよ。

芸術文化面の展示も充実

伊藤 当日は車ですと混み合いますので、できれば公共交通機関を使っていただきたいと思います。子どもから大人まで、老若男女

いろいろな方々が来てにぎやかです。小坂 パンフレットを1部100円で販売しています。スタンプラリーもついています。お子さんを連れただお母さんが楽しそうに回っていたりしますね。吉田 「峰ヶ丘祭」に来て宇大に入りたいたいと思つた受験生もいます。宇大の魅力を学祭を通して感じてもらえたらいいと思います。進学相談コーナーもありますので、受験についても直接相談できますよ。

藤田 教育学部の写真展や美術科の展示会などもぜひ見てください。工学部建設学科の建築展もフランス式庭園で行われていてかっこいい！芸術文化面もすごいです。

平野 僕は「さーくる箏」に入つて箏を弾いていますが、日舞とのコラボレーションを毎年やります。皆さんにぜひ聞いてほしいですね。

伊藤 ところで、当日は天気心配ですね。

小坂 ステージには屋根をつけますから大丈夫です。

頂点を目指して！

藤田 この辺で実行委員の皆さん一人ひとりの「峰ヶ丘祭」への意気込みを一言聞かせてください。

平野 広報、ホームページの担当です。学祭は1年に1回しかないの、皆さんに楽しんでいただくために、自分自身もすごく楽しんでやっています。

伊藤 協賛の担当です。頑張つて企業の方々に交渉してたくさん企業協賛品を集めています。企業の方々のご協力をお願いいたします。

小坂 ステージを担当しています。自分達がたてたステージ企画やビンゴなどで協賛品を皆さんにお渡しします。大変だけど、その分一杯楽しみたいですね。

吉田 来てくれた人が「峰ヶ丘祭」ついでに、楽しかったと思つてくれるような学祭にしたいと思っています。頂点を目指せるようにみんなで協力して頑張りたいと思います。また、オープニングパレードを11月10日(土)13時から行います。実行委員と有志たちが大学からオリオン通りまで仮装パレードします。



出席者
吉田大輔 / 峰ヶ丘祭実行委員長
(工学部機械システム工学科2年)
小坂友夏里 / 同実行委員
(国際学部国際社会学科2年)
伊藤聡志 / 同実行委員
(工学部応用化学科2年)
平野雄大 / 同実行委員
(国際学部国際文化学科2年)
インタビュアー
藤田健輔
(農学部農業経済学科3年)



工学部2年 吉田 大輔



国際学部2年 小坂 友夏里



工学部2年 伊藤 聡志



国際学部2年 平野 雄大



農学部3年 藤田 健輔

* 学祭実行委員会ホームページ
URL: <http://www.geocities.jp/ninegakasai/>

CAMPUS

11月23日(金)24日(土)25日(日)
第59回峰ヶ丘祭「宇頂天」



学生たちの手作りの模擬店

第58回峰ヶ丘祭
メモリアルシーン



フランス式庭園での工学部建設学科の建築展



盛り上がったステージでのライブ



オープニングパレード(今年は11月10日(土)13:00峰キャンパス出発)

峰ヶ丘祭出展サークル紹介

プロレス研究会

私達、宇都宮大学プロレス研究会は、宇都宮大学史上屈指のエンターテイメント集団として、少数精鋭ながら、「明るく、激しく、楽しいプロレス」を目指して、日々切磋琢磨しています。

活動内容としては、毎年「春の新生歓迎興行(4月頃)」「秋のプロレス(10月頃)」「学祭興行(11月頃)」と年3回、リングを建てて試合を行っています。毎年学祭興行では、連日300人以上のたくさんのお客様にご来場いただいております、誠に大盛況となっております。

今年も、11月23日(金)から25日(日)の3日間、毎日午後2時より、宇都宮大学第2体育館におきまして、試合を行います。「笑いあり、涙あり、感動あり」の私達のプロレスを、是非一度ご覧ください。



MELODY STAFF

私たち「MELODY STAFF」は、学祭ライブの企画・運営を行っているサークルです。今年の「峰ヶ丘祭」では「風味堂」のライブを行います。ライブをより円滑に進めるために、日頃からスタッフとしてコンサートに携わるといった活動もしています。学祭ライブに向けては前年度から準備を始め、現在も最高のライブを提供できるよう日々活動しています。一つのライブを作り上げるという事は、私たちにとって容易なものではありませんが、試行錯誤を繰り返しながら進めていくその過程から多くのことを学べると思います。そんな私たちがお届けします。「風味堂ライブ」に是非お越しください! 峰の生協にてチケット発売中です。一緒に大学祭最終日を盛り上げましょう。



Band Stand うたう会

バンドサークルなんです。

ン ~、総勢70名を超えるサークルなんです。

ドントコイ!

ス ぎいのは、インディーズやメジャーデビューしているOBのバンドもあるんです。

タ のしいイベント盛りだくさん♡

ン ~、ライブはもちろん、合宿やバーベキューなどもやっているよ。

ドントコイヤ!

ウ た会ライブの他にも、生協前ライブや大きいステージでの定期演奏会もやっているよ。

タ のしいことと言えば、そりゃもちろんバンドやで。

ウ たって弾いて叫んで暴れて飲んで、

カ かってこいや!

イ やぁ、文章考えるのって難しいですね。ここで、学祭についてお知らせです。うた会は今年の学祭も3日間じゃんじゃんライブやっちゃいます。1223教室です。是非見に来て下ちやい。



doodle (ドゥークル)

宇都宮大学ストリートダンスサークル「doodle (ドゥークル)」です。部員は50名で、宇大の第2体育館で6時半から練習しています。主なダンスのジャンルは「POP」「LOCK」「BREAK」「HIPHOP」「Girls」です。部員は皆仲がよく、キャラが濃く、何よりダンスをこよなく愛しています。クラブ、バトル、コンテストなど、さまざまなイベントに出演しています。その中でも、毎年大学祭でのショーが一番気合が入ります。今年は、11月23日午後4時から踊ります。今は、それに向かって一致団結して練習しています。皆さんに感動を伝えることができるようがんばりますので、是非見に来てください。宇都宮のダンスシーンを盛り上げていきたいと思っていますので、「ドゥークル」をよろしくお願ひします。PEACE



宇都宮大学 地域貢献

REPORT

日本の農業を発展させた三巨人展



「満洲」関係資料の展示会



オデオン座(映画上映会)



「日光の社寺」講演会

受付カウンター
カウンター(貸出・返却)
Reception Counter (Circulation Desk)



閲覧室

宇都宮大学附属図書館

宇都宮大学では地域貢献事業に取り組んでいます。その取組の一つ、「宇都宮大学附属図書館」の活動を紹介します。

開かれた知の拠点 としての大学図書館

薄暗い電灯の下で、かび臭い本の詰まった書棚に囲まれて、しかも顔を凝らした教授や学生が一心不乱に難しそうな本を読んでいる……大学図書館と聞いて、そんなイメージを抱いてしまう方もいるかも知れません。もちろん書庫の片隅には、そんな一面も残されていますが、大学の図書館はこの20年の間に大きく変貌しました。ひとつは、学術情報の多様化・電子化に伴う電子図書館の機能の発展であり、もうひとつは、生涯学習社会において地域社会に貢献する開かれた知の拠点としての役割です。本学図書館の峰地区本館は、放送大学栃木学習センターとの合築という形で2002年にリニューアルオープンしました。広くて明るい閲覧スペース、電子化された入館システム、コンピュータによる貸出・返却・蔵書の検索など、新しい大学図書館としての機能を備えました。もちろん建物や施設だけではなく、利用者への多様なサービス

所蔵資料の公開と 土曜・日曜・祝日開館

図書館の蔵書数は、本館と工学部分館、各研究室等所蔵分を合わせて、約58万冊です。原則として図書館所蔵の資料はすべて公開しています。開館日は利用者の要望に応える形で年々増加し、昨年は祝日や長期休業中の土曜・日曜の開館も実施しました。その結果、年間開館日数は342日に達しました。大学図書館では全国トップクラスです。全入館者数は、17万8542人うち学外者は、1万2568人でした。年間1万2000人以上の学外の方が図書館を訪れ、なんらかのサービスを利用していただくことになりました。公共図書館のようにベストセラーをたくさん並べてサービスするというわけにはいき

一般市民への 貸出サービス

2000年1月から一般市民への貸出サービスを開始し、現在は学生と同様に5冊まで2週間の期限で貸出をしています。利用登録をした学外利用者は、延べ8594人、貸出冊数は、2311冊でした。大学図書館が一般の方に図書館の貸出をするのは、今ではそれほど珍しいことではないのですが、このことをご存じない方も多いようですので、これを機会にぜひ利用していただきたいと思えます。

資料の企画展示と講演会

長い歴史を持つ図書館ですから、古文書や稀覯書などのコレクションをいくつか所蔵しています。一般の方が普段目にすることの少ないこれらの資料を公開・展示し、あわせて関連の講演会を開催しています。これまでに開催したもの、および開催中のものは下段の通りです。

図書館オデオン座 (映画上映会)

図書館オデオン座は、上映権付DVDを使用した映画上映会です。映画館ではめつたに見られない名画を、解説付きで無料でご覧になれます。年に6回程度の開催を予定しています。音楽科の先生の解説によるオペラ映画「魔笛」、寺山修司研究の先生の解説による泉鏡花原作「草迷宮」、ヴィンセントの「山猫」、金子みすゞの映画などを上映しました。映画ファンの方にもきっとご満足いただける上映会です。今回は12月に開催予定です。

図書館の新しい地域貢献 の試み UU AIR

最後に、新しい試みとして学術情報リポジトリ・UU



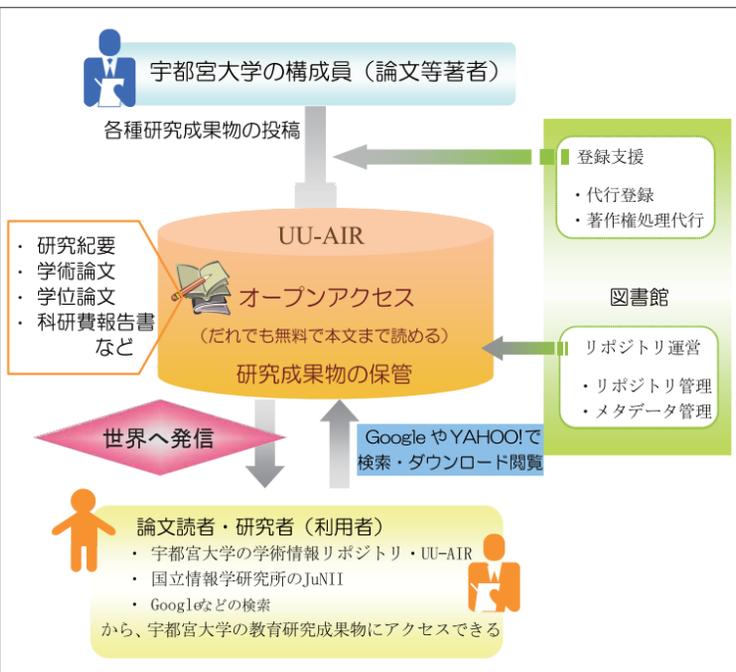
図書館入口

現在大学祭に合わせて、特別企画・展示と講演「画家・露木恵子の眼と手」を開催しています。本館2階閲覧室の入口に「峰ヶ丘の詩季」という一対のすばらしい日本画が展示されています。その作者である教育学部美術教育専攻の露木恵子教授の画業を紹介し、実際に使用する画材(筆・絵の具・紙)を展示し、11月23日(金・祝)には「絵画とは？」と題する講演会を予定しています。講演会への

参加は図書館1階カウンター で受付けています。

参加は図書館1階カウンターで受付けています。AIR(ユニーエアー)を紹介します。宇都宮大学で生産された教育研究成果を学内外にインターネットを通じて無償で公開するシステムです。2008年に公開予定です。最新の学術情報が産学連携・地域連携のきっかけになればと願っています。

2005年(秋)	戦後60年～資料で見る「満洲」 (「満洲」関係資料の展示と講演会)
2006年(秋)	世界遺産「日光の社寺」～東照宮を中心に (日光資料の展示と講演会)
2007年(夏)	日本の農業を発展させた三巨人 ～宇大農学部卒業生の足跡(展示のみ)
2007年11月	画家・露木恵子の眼と手 (絵と画材の展示と講演会「絵画とは?」)





日光の天然氷

— 日光の岩清水と寒さでつくる
幻の氷 —

栃木県のスローフードの取材をこれまで続けてきた中で感じるのは、栃木県の水の綺麗さと豊かさです。この水こそが、栃木県の特徴のある食材を生み出す源になっているように思います。今回ご紹介する日光の天然氷もまた、栃木県の水源と自然環境、そして多くの人々が育んだ、貴重な食材です。



天然氷の食材としての歴史は古く、日本では室町時代に、天然氷にお酒を注いだオンザロックが飲まれていたそうです。天然氷はまた、料理や飲み物と一緒に提供されるだけでなく、食材を保存するための保冷剤として、昔から活用されてきました。

日光でも、天然氷を生産しているところが以前は10カ所近くあり、生産された氷は、鮮魚などの保冷のために、日光から近隣の漁港や魚市場まで運ばれていました。このように、昔は日本各地で大いに食され利用されていた天然氷は、電気冷蔵庫の普及とともに、その主な役割を終えることになりました。しかし一方で、氷での冷却は、電気冷蔵庫に比べて比較的高い湿度を保つと同時に、強制的な冷風の流れがないことなどから、効果的に食品の鮮度を維持することが可能になるそうです。その理由から、東京の高級ホテルの厨房では、一部の高級食材の鮮魚やワインのために、今でもわざわざ氷を用いた冷蔵庫を使用しています。このように氷を使った保冷には、根強い人気があります。



日光鳴虫山の北側にある、天然氷の生産池。冬場に氷が張ったもの（上）。夏場の生産池の様子（下）。奥に見える小屋が氷を保存する氷室（ひむろ）

現在の全国の主な天然氷の生産場所は、埼玉県長瀨、長野県軽井沢、そして日光市には3カ所です。

今回取材をさせてもらった日光市における天然氷生産者のひとつである吉新氷室は、日光市御幸町志渡淵沿いの山の北側斜面につくられた天然氷の生産池で、鳴虫山から湧き出る岩清水を利用して、100年近く伝統の天然氷をつくり、守ってきました。最近では、3代目の良次さんが、自らの高齢化を理由に、重労働を伴うこの天然氷の生産を続けることが難しいと考えていました。その矢先に、吉新さんの血縁関係ではない、まったくの他人であった山本雄一郎さんが、この日光で伝統のある天然氷の生産を続けたい、また残していきたいという思いを持ち、4代目として後を継ぐことになりました。しかし、山本さん一人では天然氷の生産は難しいため、「日光森と水の会」の有志の方々の協力を得て、天然氷の生産を始めることになったのです。

天然氷の生産の条件は厳しく、梅雨の時期でも汚れていない綺麗な水、天然氷を成長させる寒さ、天然氷に降り積もる雪の少なさ、日中に陽が当たらない天然氷の生産池などの立地条件が揃って、はじめて生産が可能となります。天然氷の生産は、冬が始まる12月から準備を行います。岩清水を配水パイプによって浄化槽に集め、そこで殺菌のために塩素消毒を行います。消毒された水は、塩素が抜けた48時間後に生産池に流し込まれ、寒波によって天然氷に成長します。生産池では、天然氷が成長するにつれて、余分な水が湯船から溢れ出るようになっていきます。

天然氷をきれいに成長させるために、天然氷に余分な圧力をかけないようにする必要があります。そこで、生産池の底面は土になっていて、天然氷が張ることにより生じた水圧が、底面へ逃げるようになっていきます。この理由から、生産池の側面は管理が楽な石垣によって囲まれているのですが、底面だけは土のままになっているのです。生産池の天然氷の表面に雪が積もると、雪の重さで氷が沈み、外側から水が浸入してしまい、氷の商品価値が下がってしまいます。そこで、雪が降っ

エンジンを積み込んだ動力カッターによって行われる天然氷の切り出し（右）。切り出された天然氷は、木製の滑り台によって、つぎつぎと氷室（ひむろ）の小屋へ運ばれる（下）



たときには、その雪を除去する作業が必要になります。このように天然氷の生産と管理は、天候に左右される大変な仕事です。さらに、氷の商品価値を下げないために、表面に積もった小さなゴミを掃除する作業が毎朝行われています。



切り出して並べられた天然氷



天然氷には、すぐに日光杉のオガクズがかけられ、保存される

天然氷は、生産池の表面から成長します。2週間で厚さ（深さ）約15cmになったところで、切り出し作業が行なわれます。氷の下は、まだ氷になっていない水なので、氷の上で行う切り出し作業は、慎重を要します。切り出される氷の大きさは、1枚が、約800×450×150mmの大きさです。

切り出された重い天然氷は、木でつくられた梯子のような滑り台を使って、生産池の下にある氷室の小屋へ運ばれます。氷室に集められた天然氷は、日光杉のオガクズに包まれ保冷されます。氷は、溶け出した水によって溶け方が加速します。しかし、天然氷を包むオガクズによって、溶けた水が毛管現象によって気化されるため、天然氷は、2月に収穫を行い8月に出荷したとしても、氷室で保存すれば、その量が3割減るだけです。切り出された天然氷は、氷室の中でオガクズに包まれ、出荷の時期を静かに待ちます。

日光の天然氷は、硬くて溶けにくく、透明度が高いのが特徴です。もともと、日光の湧き水はおいしい水なので、その氷もまたおいしい氷となります。氷もロック用、カキ氷用と多くの用途に使用されます。日光の天然氷の生産量は、その年の天候にもよりますが、3カ所合わせて約1000トンありました。日光市御幸町では、山本さんが継ぐ前は、年間160トン生産しており、山本さんが初めて手がけた2006年～2007年の冬は試験的に40トンをつくることができました。今年の冬には、元の160トンを生産する予定です。是非、これからもこの日光の天然氷の生産を続けてもらいたいと思います。

今回の取材を通じて、多くの有志の方々によって天然氷の生産が続けられていることを知り、スローフードを守っていくためには、豊かな自然環境を維持すると同時に、文化・技術の伝承のために、多くの人々の理解と協力が必要ながよく分かりました。

（農学部 野口良造）

夏休みの思い出Best5

- 1位 サークル活動
- 2位 帰省
- 3位 旅行(海外を含む)
- 4位 24時間耐久リレーボウリング大会
- 5位 ディズニーランド・ディズニーシー

夏休みの思い出第1位に選ばれたのはサークル活動です。さまざまな部活・サークルが大会や大学祭を目指して活発に活動しています。2位の帰省は1年生の意見がとて多かったです。やはり大学生初めての長期休暇ということで、実家で過ごす人や同窓会で帰省する人も多いようですね。長い休みということで旅行も第3位にランクインしました。また旅行とは別にディズニーランド・ディズニーシーが第5位に輝いています。大学の友達やカップル等で出かけた人が多いようですね。第4位にランクインした24時間耐久リレーボウリング大会はサークル単位や学科単位で参加した人が多かったようです。宇大生の夏休みの醍醐味の一つですね。

学生アンケート 宇大生は 今!

はじめに

今回は宇大生の夏休みにスポットを当て、アンケートをとりました。

「夏休みの思い出」と「あなたにとって夏休みとはどんなものですか?」ということに宇大生に答えてもらいました。ご協力ありがとうございました。

大学生の夏休みは2カ月もあります。さまざまなことにチャレンジできる時間でもあり、思い出作りもできる時間でもあり……人によってさまざまな夏休みがあります。

あなたにとって夏休みとはどんなものですか? またどんなものでしたか?

取材・文/農学部 3年 廣田真人
イラスト/教育学部3年 熊田里実

農学部

- 自分の視野を広げる(2年)
- 自分らしい時間を過ごす休息(1年)
- 楽しい(2年)
- 友達や家族との時間を大切にできる期間(1年)
- 長い休み(4年)
- バイトをして、お金を貯める。卒論(4年)



国際学部

- ゆっくりと自分の自由な時間が持てる 充電時間(2年)
- 2ヶ月も夏休みがあるのは大学生のうちだけ…大学生だからできることをやる時間!!(3年)
- 遊びほーだい!!!!(1年)
- いろんなイミでアツい(2年)
- 大学のうちにしかできないこと(旅行・研究・サークル)をする期間(3年)
- 大切な時間、学生ならではの(2年)
- たくさん、長く遠出するためのもの。海外行ったり(3年)
- 長期休暇。自分の好きなことをする(2年)
- 短すぎだよ夏休み!(1年)
- 約2ヶ月もあり、何でも出来る期間(1年)



あなたにとって 夏休みは どんなものであか?

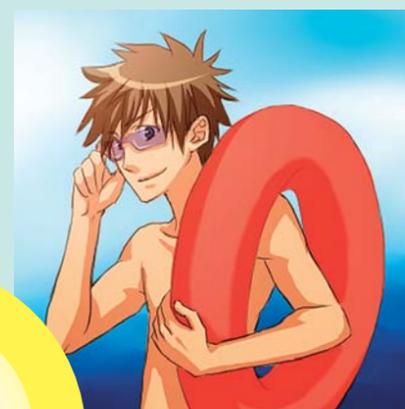
教育学部

- 2ヶ月もあるので挑戦できる(1年)
- 秋の勉強を続けるための休み期間(2年)
- 一年で一番、行動派になる期間(2年)
- 来年は教育実習……!!!(2年)
- 思いっきり遊んで楽しむ時間(2年)
- 郷土愛を再確認するもの(2年)
- 実家ってステキ(1年)
- 青春!!(2年)
- プライベートを楽しむもの(2年)
- 勉強、遊び、バイトで忙しい期間(2年)
- 骨休め(2年)



工学部

- 遊びたい時に遊べない。長い休みのようでやる事がたくさんある期間(2年)
- サークル活動に没頭(1年)
- 自分のやりたいことをやれる時期(1年)
- 自分を高められる期間です(1年)
- 充電時間(1年)
- 好きなことだけ出来る期間!!(1年)
- すごい楽しい初夏休み!(1年)
- 冬眠期間(1年)
- やりたいことをめいっぱいやる期間(4年)
- やりたいことをやる(4年)



全学オープンキャンパス(7月21日に実施しました)

今年度は、全学オープンキャンパスに加えて、工学部、農学部で「学部オープンキャンパス」を開催！7月21日(土)に開催されたオープンキャンパスでは、あいにくの雨の中、栃木県内外の高校生を中心に約3,800人の方々に参加頂きました。

全学オープンキャンパスに、学校の補習や、スポーツ大会などの理由で参加できなかった方は、ぜひ、「学部オープンキャンパス」にお越しください。

楽しかったよ！



7月21日のアルバムから

陽東キャンパス

工学部



峰キャンパス

国際学部
教育学部
農学部



熱心に聞いていたよ！

工学部 オープンキャンパス 11月10日(土)開催！

工学部独自の「秋のオープンキャンパス」を開催します。秋のオープンキャンパスは初めての試みであり、11時30分から総合受付を開始します。学生食堂も体験できます。

- 日時：平成19年11月10日(土) 13:00～16:00 (受付 11:30～)
 場所：陽東キャンパス
 内容：学科説明会(カリキュラム、研究内容、卒業後の進路などの説明)
 研究室訪問(大学生と授業や学生生活について懇談)
 学科内ツアー(実験室、教室、演習室などを見学)
 進学相談(入学試験、授業内容、就職状況などについて説明)



お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学工学部総務係 / 工学部オープンキャンパス実行委員会
 TEL028-689-6004 <http://www.eng.utsunomiya-u.ac.jp/>

農学部 オープンキャンパス 12月15日(土)開催！

21世紀は農学の時代！学科・コースのガイダンスや模擬授業、進学相談、研究室紹介など、進路決定に役立つ情報がもりだくさん。農学部をめざすキミもそうでないキミも、オープンキャンパスに来て！見て！農学の楽しさを体験してください！

- 日時：平成19年12月15日(土) 9:30～16:00 (受付 9:00～)
 場所：峰キャンパス 農学部棟、雑草科学研究センター、遺伝子実験施設、大会館
 内容：農学部全体説明会、学科・コースガイダンス、オープンラボ、模擬授業、進学相談、高校-大学研究情報交換会など

Yes! 農!



国立大学法人 宇都宮大学農学部
オープンキャンパス 入場無料 予約不要

お問い合わせはこちらまで
 宇都宮大学農学部総務係
 TEL028-649-5398 <http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>



研究 Keyword

言語普遍性・意味と形式・英語教育や日本語教育への応用

宇都宮大学国際学部 佐々木一隆



PROFILE

東京学芸大学教育学部英語科卒業 / 東京学芸大学大学院教育学研究科英語教育専攻(英語学講座)修士課程修了 / 教育学修士 / 専門分野: 英語学・言語学

宇都宮大学国際学部教授 佐々木一隆



卒業論文中間報告会を終えて



研究科で指導している中国、モンゴル、日本人学生

私は学生時代より生成文法理論に基づく英語の統語論を研究してきました。この文法理論はアメリカの言語学者ノーム・チョムスキーが創始したもので、英語なら英語の、日本語なら日本語の母語話者が持っている知識がどのようにしているかを説明し、そのような言語知識が母語の場合にどうして容易に獲得されるのかを説明しようとするものです。統語論は文の構造を説明する言語学の低位分野のひとつです。これまでに、私は、英語の受動文や名詞句など様々な構造について研究してきました。

20年ほど前に宇都宮大学教養部に赴任し、13年前に国際学部に移った頃から、私の研究に変化が起きました。研究内容としては、英語のみを対象としていた研究から、それ以外の言語も対象とする研究へと広がりました。また、統語論に加えて意味論なども扱うようになったと言えます。研究方法については、比較の視点が入り、言語の構造のみならず、そうした構造が実際にどのように使われるかについても着目するようになったりました。こうした変化により、現在の主な研究テーマは、学生時代から続けている生成文法理論に基づく英語統語論に加え、日英語の比較、「ミニミニ」の英語化のための英文法となつていきます。

最近の主な論文を3点紹介しましょう。第1は、東京学芸大学の八木孝夫氏との共著である『Nominal Modifiers in English: An Outline of a Dynamic Analysis』(2003)で、開拓社から出版された論集『Empirical and Theoretical Investigations into Language: A Festschrift for Masaru Kajita』に掲載されました。この論文は、a white catのwhiteのような(名詞を前から修飾する)形容詞が、The cat is white.のようになつて用いられる述詞としてのwhiteから、意味の違いを別の形式で表すために発生したのではないかという問題を、母語獲得の事実をふまえて、生成文法理論に基づいて論じたものです。併せて、英語ではthe fond of jazz studentのような修飾構造(fond of jazzがstudentを修飾する構造)が許されないのがなぜかについて、「そのジャズが好きな学生」という修飾構造が可能な日本語と比較し、論証しました。このような分析には、時間軸を言語理論に取り入れて、言語の共通性と多様性や母語獲得の事実を動的に捉えるという恩師梶田先生のお考えが反映されており、チョムスキーとは異なる言語普遍性が見られます。

第2は、単著の『A Communicative Approach to the S, NP Construction in English』(2006)で、宇都宮大学国際学部研究科論集『第20号』に載りました。この論文は、主節に対してコメントを与える働きをする名詞句(例えばI began to fine-tune my sentences a fastidiousness I learned from Moore's prose.で、私はS, NP 構文と呼んでいます)について、「ミニミニ」の立場から論じました。特に、この構文がもつ固有の意味的・機能的特性を明示し、これらの特性がどうして「S, NP」という特定の構文と結びついているかを説明している点が新しい試みです。また、意味と形式の結びつきについて、あるいは、意味がどのような構造として具現化されるかという問題について重要な示唆を与えていると言えます。このような研究成果は、英語教育、特に英文法の効果的な指導に活用できるのではないかと思います。

第3は、『A Story of Nearby: A Morphological, Syntactic-Semantic, Discourse-Based, and Developmental Perspective』という単著の論文で、来年の春に出版される記念論集に掲載される予定です。この論文は、動的な生成文法理論に基づいて、英語のnearbyがもつ特異な語義について、類義語のnearと比較しながら独自の分析を行っています。具体的には、We went to a nearby river for a cookout.とnearby river for a cookout.は言えないという事実を出発点として議論しました。nearとnearbyは類義語

語ですが、意味や用法に微妙な違いがあることが注目されます。分析の特徴は、特定の語がもつ意味を、語構造に関する制約、統語と意味の対応関係、談話構造、英語史の観点から多重的に捉えている点です。特に、類義語との微妙な意味の差異を説明するには、英語の歴史を見ることが重要だと感じています。また、このことは英語辞典の記載の原理や方法にも一定の示唆を与えられるのではないかと考えています。

以上のような研究歴には、国際学部・国際学研究科での教育研究が大きく影響しています。日本語研究の重要性を真に実感するようになったのは、小池清治先生と日本語を研究している学生、特に外国人留学生のおかげです。言語についての多様な関心と研究への更なる意欲をもつようになったのは、学部・研究科の授業や卒業論文・修士・博士論文を指導している学生からの知的刺激があります。学部・研究科、留学生センター、在外研究でお世話になったUCLAの諸先生からの影響も大きいと実感しています。



チェコのバラツキー大学から来た日本語・日本文化研修留学生からの贈りもの

今号は、大祭祭、オープンキャンパスの特集号です。フロントページは本学農学部の前号である宇都宮高等農林学校を卒業し、農林水産省畜産試験場の初任第三研究室長として活躍された世界で初めて「非外科的な受精卵移植技術」により子牛を生ませることに成功した、杉江信氏を特集しました。峰ヶ丘の地で学び、世界の頂点に立たれた先輩たちに触発されたか、今年度の大学祭のテーマは、「宇頂点」です。峰ヶ丘祭は、今年で99回目を迎えました。この大学祭の運営を担うのは大学祭実行委員会を中心とした学生たちです。

学科学やゼミ、サークルの仲間とともに、学術的な企画から名物料理もある模擬店企画まで、様々な形で宇大での楽しい学生生活を伝えております。「とてもなくおもしろい峰ヶ丘祭」をどうぞ満喫してください。これまで年に1回開催していましたが、今年度は工学部と農学部でオープンキャンパスを開催します。是非、学部オープンキャンパスにお越しいただき、大学で何が行われているか実際に見て聞いて、触れてください。宇都宮大学は、これからも伝統を守りつつ、時代の変化、地域の要請に応えるべく、努力を続けて参ります。

編集後記
企画・編集 宇都宮大学広報室
UU Now 第11号編集委員

編集長 水本忠武 理事 企画戦略担当
編集委員 廣田 真人 農学部3年
マリー ケオマノータム 国際学部教員
川原 誠司 教育学部教員
佐々木英和 生涯学習教育研究センター教員
湯山 一郎 工学部教員
野口 良造 農学部教員
金子 豊 農学部教員
小島 啓重 総務課職員
飯島 透 総務課職員
高野 浩一 総務課職員
鈴木 博 学生支援課職員
茂木 博 学術情報課職員
編集協力 ヒオス編集室

広報室では、皆様の声をお待ちしております。ご意見・ご要望などをお寄せください。
【宛先】
宇都宮大学 総務部総務課 企画広報係
〒321-8505 宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



宇都宮大学 携帯サイトへGO!

宇都宮大学附属図書館特別企画・展示と講演
画家・露木恵子の眼と手

作品と画材の展示 日時: 11月1日(木) ~ 30日(金)
場所: 図書館3F 閲覧室

講演「絵画」とは? 日時: 11月23日(金) 13:30~16:00
場所: 図書館3F 会議室

講演会の参加申込は図書館1F受付カウンターまで(先着50名様)

お問い合わせはこちらまで
宇都宮大学附属図書館
TEL 028-649-5134

入場無料